



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 東 大

上場会社名 中外鉱業株式会社

コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安藤 道明

問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長

(氏名) 桜庭 勲

TEL 03-3201-1541

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	14,225	△31.7	1,092	—	1,095	—	141	—
24年3月期第3四半期	20,826	△10.8	△949	—	△1,000	—	△1,152	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 985百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △1,326百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	0.49	—
24年3月期第3四半期	△3.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	9,868	8,434	78.0	26.57
24年3月期	8,623	7,565	87.6	26.09

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 7,697百万円 24年3月期 7,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	11.2	160	△24.2	100	△30.8	70	—	0.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	289,747,982 株	24年3月期	289,747,982 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	88,158 株	24年3月期	88,158 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	289,659,824 株	24年3月期3Q	289,659,940 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2 . サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3 四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興により緩やかに回復の動きが見られるものの、欧州債務危機や為替の変動リスクの顕著化、中国等の新興国の成長鈍化等、先行きは依然として不透明な状況にありました。

このような経済状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）は、貴金属市況において金・銀・プラチナ等の貴金属価格は、米国の金融緩和策継続への期待感や、世界情勢などのリスク回避の動きが高まったことにより上昇基調で推移していたものの、金原料の集荷量が当初見込みを大幅に下回ったことから売上高は減少いたしました。宝飾市況においては、足元のダイヤモンド価格は一部で持ち直しの兆しがみられるものの、年度前半の価格が下落基調であったことから、業績は厳しい状況のもと推移いたしました。不動産市況においては、低金利の継続や税制等の政策支援により、住宅購入環境に改善の兆しがみられるものの、資金調達環境に改善の兆しはみられず、依然厳しい状況のもと推移いたしました。機械事業においては、欧州や中国市場を始め世界経済減速の余波を受け、需要減が影響し厳しい受注環境のもと推移いたしました。投資事業においては、金先物価格の上昇により評価益を計上したことが寄与し好調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期の売上高は14,225,739千円（前年同四半期20,826,766千円）、営業損益は1,092,134千円の利益（前年同四半期の949,381千円の損失）、経常損益は1,095,971千円の利益（前年同四半期1,000,947千円の損失）、四半期純損益は141,257千円の利益（前年同四半期1,152,054千円の損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第3四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

貴金属事業におきましては、売上高は10,306,403千円（前年同四半期18,615,941千円）、営業損益は186,602千円の損失（前年同四半期150,459千円の利益）となりました。

宝飾事業におきましては、売上高は775,008千円（前年同四半期638,602千円）、営業損益は55,535千円の損失（前年同四半期47,313千円の損失）となりました。

不動産事業におきましては、売上高は274,985千円（前年同四半期155,255千円）、営業損益は28,658千円の損失（同四半期36,950千円の損失）となりました。

機械事業におきましては、売上高は1,145,907千円（前年同四半期1,416,966千円）、営業損益は44,446千円の損失（前年同四半期21,248千円の利益）となりました。

投資事業におきましては、営業損益は1,707,493千円の利益（前年同四半期778,072千円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より1,244,300千円増加し、当第3四半期末は、9,868,290千円となりました。

増加の主なものは、預け金の増加（279,687千円から1,272,894千円へ993,207千円の増加）、デリバティブ債権の増加（1,483,749千円の増加）であります。

減少の主なものは、現金及び預金の減少（2,421,444千円から1,197,107千円へ1,224,337千円の減少）であります。

当第3四半期末における負債の残高は、前連結会計年度末より376,005千円増加し、当第3四半期末は、1,434,097千円となりました。

増加の主なものは、長期借入金の増加（472,209千円から843,218千円へ371,008千円の増加）であります。

当第3四半期末における純資産の残高は、前連結会計年度末より868,294千円増加し、当第3四半期末は、8,434,193千円となりました。

増加の主なものは、利益剰余金の増加（5,195,035千円から5,053,778千円へ141,257千円の増加）であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、金地金原料集荷量が当初想定より下回ったことによる金地金販売量の減少が大きく影響し、売上高は大幅に減少したものの、金先物価格の上昇により運用益及び評価益を計上したことが寄与し、営業利益、経常利益及び当期純利益が改善いたしました。他方、通期業績につきましては、今後の貴金属価格の動向により業績は大きく影響を受けるため、平成24年5月11日に公表いたしました連結業績予想が修正を行っておりません。

確定次第速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業損益、経常損益及び税金等調整前四半期純損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,421,444	1,197,107
受取手形及び売掛金	47,630	87,502
有価証券	4,000	-
商品及び製品	734,942	776,011
仕掛品	140,801	140,571
原材料及び貯蔵品	24,852	36,196
販売用不動産	480,244	322,160
仕掛不動産	275,524	347,909
貸付商品	872,210	902,347
預け金	279,687	1,272,894
デリバティブ債権	-	1,483,749
その他	61,320	68,568
流動資産合計	5,342,660	6,635,019
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,167,644	1,154,915
減価償却累計額	268,401	334,150
建物及び構築物(純額)	899,242	820,764
機械装置及び運搬具	563,365	552,666
減価償却累計額	340,519	366,024
機械装置及び運搬具(純額)	222,846	186,642
土地	1,472,845	1,550,882
建設仮勘定	-	400
その他	114,378	122,464
減価償却累計額	71,973	87,071
その他(純額)	42,404	35,392
有形固定資産合計	2,637,339	2,594,082
無形固定資産		
地上権	365,000	365,000
その他	5,781	2,094
無形固定資産合計	370,781	367,094
投資その他の資産		
投資有価証券	101,946	101,946
出資金	9,205	9,205
長期未収入金	487,019	487,019
敷金及び保証金	150,544	149,419
その他	11,513	11,523
貸倒引当金	487,019	487,019
投資その他の資産合計	273,209	272,094
固定資産合計	3,281,330	3,233,271
資産合計	8,623,990	9,868,290

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,069	8,409
関係会社短期借入金	55,000	-
1年内返済予定の長期借入金	182,768	137,354
未払金	34,904	92,196
未払法人税等	36,920	47,254
その他	22,764	34,691
流動負債合計	335,426	319,906
固定負債		
長期借入金	472,209	843,218
長期末払金	59,909	54,509
金属鉱業等鉱害防止引当金	7,033	7,033
預り敷金保証金	10,103	20,079
資産除去債務	173,409	176,356
繰延税金負債	-	12,994
固定負債合計	722,665	1,114,191
負債合計	1,058,091	1,434,097
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,782,064	12,782,064
利益剰余金	5,195,035	5,053,778
自己株式	30,930	30,930
株主資本合計	7,556,098	7,697,356
少数株主持分	9,800	736,837
純資産合計	7,565,898	8,434,193
負債純資産合計	8,623,990	9,868,290

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	20,826,766	14,225,739
売上原価	20,726,975	12,074,278
売上総利益	99,791	2,151,460
販売費及び一般管理費	1,049,173	1,059,325
営業利益又は営業損失()	949,381	1,092,134
営業外収益		
受取利息	115	105
国庫補助金収入	10,066	66,224
その他	3,227	4,707
営業外収益合計	13,409	71,037
営業外費用		
支払利息	8,922	10,144
休山管理費	54,211	56,421
その他	1,839	634
営業外費用合計	64,974	67,200
経常利益又は経常損失()	1,000,947	1,095,971
特別利益		
債務保証損失引当金戻入額	15,896	-
その他	13	-
特別利益合計	15,910	-
特別損失		
貸倒引当金繰入額	15,896	-
固定資産除却損	2,801	-
減損損失	307,409	74,467
特別損失合計	326,107	74,467
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	1,311,144	1,021,504
法人税、住民税及び事業税	15,336	22,936
法人税等調整額	-	12,994
法人税等合計	15,336	35,931
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	1,326,481	985,573
少数株主利益又は少数株主損失()	174,426	844,315
四半期純利益又は四半期純損失()	1,152,054	141,257

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	1,326,481	985,573
四半期包括利益	1,326,481	985,573
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,152,054	141,257
少数株主に係る四半期包括利益	174,426	844,315

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	貴金属事業	宝飾事業	不動産事業	機械事業	投資事業			
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	18,615,941	638,602	155,255	1,416,966	-	20,826,766	-	20,826,766
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	12,050	-	-	12,050	12,050	-
計	18,615,941	638,602	167,305	1,416,966	-	20,838,816	12,050	20,826,766
セグメント利益又はセグメント損失()	150,459	47,313	36,950	21,248	778,072	690,628	258,753	949,381

(注) 1. セグメント利益又は損失()の調整額 258,753千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 258,753千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「貴金属事業」セグメント5,204千円、「不動産事業」セグメント178,867千円、「機械事業」セグメント96,435千円、全社資産26,902千円を減損損失としてそれぞれ計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては307,409千円であります。

当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	貴金属事業	宝飾事業	不動産事業	機械事業	投資事業			
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	10,306,403	775,008	274,985	1,145,907	1,723,434	14,225,739	-	14,225,739
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	12,050	-	-	12,050	12,050	-
計	10,306,403	775,008	287,036	1,145,907	1,723,434	14,237,789	12,050	14,225,739
セグメント利益又はセグメント損失()	186,602	55,535	28,658	44,446	1,707,493	1,392,250	300,115	1,092,134

(注) 1. セグメント利益又は損失()の調整額 300,115千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 300,115千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「貴金属事業」セグメント6,120千円、「不動産事業」セグメント47,183千円、「機械事業」セグメント21,162千円を減損損失としてそれぞれ計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては74,467千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失()に与える影響は軽微であります。

(報告セグメントの変更等)

当第3四半期連結会計期間から、「貴金属事業」に含まれていた「宝飾事業」について質的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。